

# トップレフェリーは「基本に忠実」であること

九州審判研修会 2014/6/21

## 1 ゲームのコントロールは試合開始前から始まっている

- ボール管理
- コート管理
- プレイヤーの管理
- 記録用紙の管理
- 競技役員とのコミュニケーション

## 2 「基本に忠実」とは「競技規則に忠実」ということ

### ○上級審査での視点

#### (1) ゼスチャー

- ・方向指示
- ・ゴールキーパーズロー
- ・カード、2分間の出し方
- ・タイムアウト

#### (2) 「許される行為」と「許されない行為」の見極め

##### ○身体接触 競技規則第8条、16条

- ・許される行為
- ・許されない行為
- ・罰則 特に「即座に2分間退場とする」行為 8-4
- ・「防御側の違反」なのか「攻撃側の違反」なのか

##### ○スポーツマンシップに反する行為

- ・賞賛に値する行為
- ・ハンドボールの特性を失わせる行為
- ・スポーツ（ハンドボール）に携わる人としての質を問われる行為

##### ○ボールの扱い方

- ・ステップ
- ・ドリブル

#### (3) ゲーム管理

##### ○ペアリング

- ・役割、領域分担
- ・走り方、位置取り

##### ○オフィシャルとの連携

- ・カード、2分間退場の指示
- ・タイムアウトの合図

##### ○コート管理

- ・適切なタイミングでのモップ タイムアウト
- ・ボール管理 ボールの交換

##### ○プレイヤー、ベンチの管理

- ・ユニフォームの着方 装飾品
- ・倒れている選手への配慮
- ・負傷者への対応
- ・チーム役員とのコミュニケーション

すばらしい試合も  
信頼されるレフェリーも  
  
すべて、  
  
基本に忠実であること  
からはじまる

## 3 レフェリー審査用紙 (別紙参照)